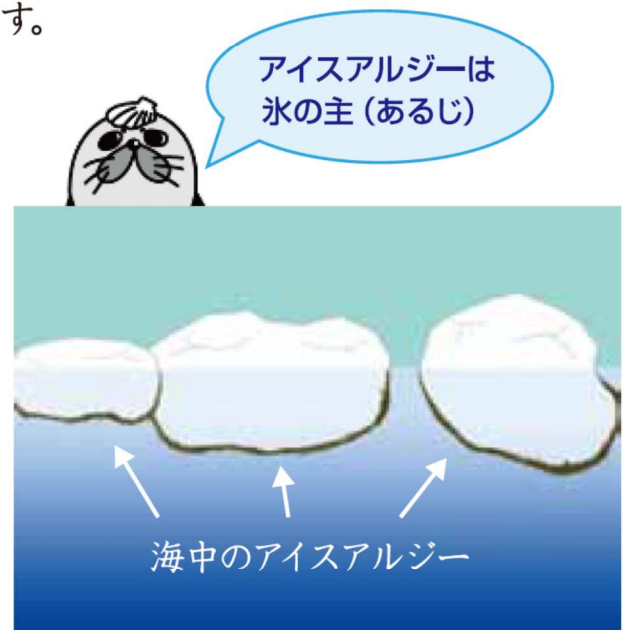


8. 豊かなオホーツク海 ー流氷と食物連鎖ー

アイスアルジー

海水はおよそ約 -1.8°C で凍結します。海水が凍るときは水だけが凍りますが、この時に海水中の濃くなった塩分が氷の中に閉じ込められます。この閉じ込められた濃い塩分を**ブライン**と言います。ブラインはブラインチャンネルという道を通って流氷の下に移動します。そして下まで移動すると海に出て行って沈んでいきます。この時にできた穴をブラインポケットと言い、この流氷の底にできた穴に小さな藻類が増殖し、流氷の底が茶色くなるほどになります。

この藻類を**アイスアルジー**と言い、オホーツク海の流氷にはアイスアルジーが多くすんでいます。春に流氷が解けると海中で**ブルーム**と呼ばれる大繁殖をして、それを動物プランクトンが食べ、動物プランクトンを魚が食べ、「食べる」、「食べられる」がつながっていきます。この様にアイスアルジーは多様で豊かなオホーツク海を支えているのです。



食物連鎖

食物連鎖とは「食べる」、「食べられる」という生きものつながりのことです。オホーツク海では春に大繁殖した植物プランクトンであるアイスアルジーを動物プランクトンが食べます。動物プランクトンは小魚のエサとなり、小魚は大きな魚やアザラシのエサとなります。これを**生態系ピラミッドの図** (図8-1) で表すとピラミッドの下の食べられ方は数が多く、食べる方は上に行けば行くほど数が少なくなっています。こうしてちょうど良いバランスで自然界はできているのです。

しかし実際は動物プランクトンが動物プランクトンを食べたり、魚が魚を食べたりもします。また海の生きものを鳥や陸上の動物が食べたりもしてとても複雑です (図8-2)。食物連鎖は海だけでなく川、森、他にも色々な場所で起きています。生態系を守ることはこのちょうど良いバランスを地球全体で守ることなのです。



図8-1 生態系ピラミッド

実際の自然はとても複雑なんだ。

絶妙なバランスだね。

ピラミッドの横並びでも食べる食べられるがあるんだね

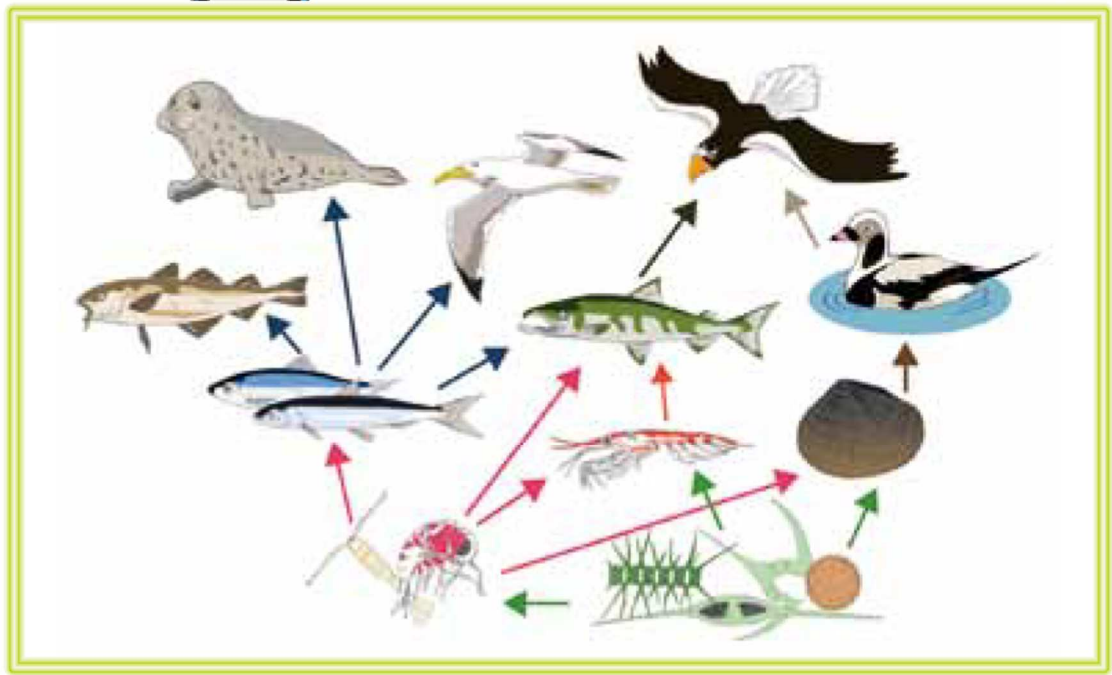


図8-2 食物連鎖の複雑なつながり